施策評価シート(令和7年度実施施策)

総合計画体系	政策No.	2	政策名	安心で安全な暮らしづくり	施策主管課	総務課
	施策No.	2-1	施策名	防災・消防体制の充実	施策主管課長名	平山　正孝
関係課	総務課 建設水道課					

1．施策の目的

対象	意図
A 地域 B 町民	A 地域ぐるみの減災体制が整っている B 防災の意識が高まり、災害への備えが浸透している

2．成果指標　　**上段：目標値　下段：実績値**

	指標名	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 自治区あたりの自主防災組織率（増加）（現状値：H30時点）	%	9	20	25	30	35	45
				9	11	11	12	13
②	B 災害等の発生に対する備えができている割合（増加）（現状値：H28-30平均）	%	34.4	35.4	36.4	37.4	38.4	39.4
				35.1	39.8	39.9	33.1	43.2
③								
④								

3．指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	計画期間における実績値は、上昇傾向にあるものの、各年度とも目標を達成しなかった。令和７年度は１件の新規設立となった。自主防災組織の新規設立に向け、出前講座による啓発活動と自治区長への補助金制度の周知・啓発を実施したが、更なる取組が必要と考えられる。
②	計画期間における実績値は、令和６年度に一時的な低下はあったものの、全体的に上昇傾向となっており、令和４、５、７年度においては目標を達成した。令和７年度においては、前年度比10.1ポイントの増加となった。関係機関の協力による啓発活動のほか、全国的に災害が多発し、報道等により目にする機会が多かったことによるものと考えられる。
③	
④	

4．課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・自主防災組織の新規設立に向け、出前講座による啓発活動を行い、併せて自治区長への補助金制度の周知・啓発を実施した。さらに、自治区の総会時に説明してもらえるよう総会のタイミング前に区長宛てに周知することにより、自治区内で話す機会を作る工夫をした。
・本郷地域において、夜間災害を想定した防災訓練を一般住民参加のもと実施した。
・令和７年度において、次年度以降における自主防災組織の補助内容の見直しを検討した。
・避難行動要支援者個別避難計画について、対象地区を選定しケアマネジャー等の協力を得ながら計画を作成できた。
・これらの取組により、町民の防災に対する意識高揚が図られた。

5．次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

この施策は、第４次総合計画においては、防災・防犯体制の充実（施策１-３）に引き継がれる。
自主防災組織について、新規設立時の補助に加えて、継続して活動できる補助制度を構築する。また、限られた参加者で実施する防災訓練ではなく、地域住民の方が参加できるような防災フェアを開催し、防災の重要性の周知・啓発に取り組む。更に、避難行動要支援者個別避難計画の拡充に努める。

６．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和7年度決算額(千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4611	地震防災対策事業	316	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	4741	消防施設維持管理事業	18,894	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	5116	防災情報システム事業	10,691	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
4	5379	災害対策事業	13,363	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	5595	消防団員活動事業	58,485	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
6	5619	広域消防等事業	404,804	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
7	14702	急傾斜地崩壊対策事業	0	評価対象外	評価対象外	評価対象外	